# 銅板瓦 御寄進について

## 大念佛寺大屋根葺き替え改修のための銅板瓦御寄進のお願い

**御寄進料**

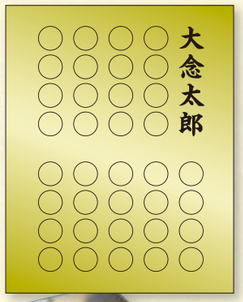
**1口 5,000円** 寄進者のお名前を芳名帳にのみ記帳させて頂きます

**2口 10,000円**

※1万円以上（2口の場合）

銅板瓦（1枚につき連名列記）に名前記入

（一例）




**6口 30,000円**

※3万円以上（6口の場合）

銅板瓦1枚に家族名記入
（ご家族やご兄弟の記名が可能）

（一例）

**10口 50,000円**

※5万円以上（10口の場合）

銅板瓦1枚に施主名と祈願文を記入致します。

（一例）

**40口 200,000円** 銅板瓦1枚に施主名と祈願文を記入
竣工法要に特別ご招待

## 「寄進」のお願い

大阪府下最大の木造建築物である大念佛寺の本堂は、将来の重要文化財指定に臨むとされる大阪市指定文化財です。

現在の本堂は先の大堂が明治三十一年に炎上して以降、地域と檀信徒からの悲願が実り建立されたものです。

昭和四年五月八日の基盤の石づき工事には、合計千五百人が訪れ、寄せられた数多の栗石を松の巨木でつき固め、基壇が造られました。地域の別なく、本宗、他宗の別なく、ただ「信仰の力」によって延べ五万人の石づきから一枚の基礎を造り、現在に至ってもなおその大磐石は大堂を支え続けています。

まさに、現在の御堂は「信仰の力」によって建立を果たしたとも言えるでしょう。しかし、その御堂も昭和十三年の再建以来幾星霜を重ね、近年の自然災害により損傷が散見されるようになりました。

そこで、来る令和十三年元祖良忍上人九百回御遠忌の記念事業として本堂の屋根改修を計画いたしました。「信仰の力」の基壇に建つ本堂の大屋根工事を成満達成するためには、やはり皆様方のお力添えが必要です。

お寄せいただいた浄財は本堂大屋根改修に用いる銅板瓦に充当させて頂き、寄進者のお名前を銅板に記入し奉納させて頂きます。

昭和の初め、皆様のご先祖がつき固められた信仰を途絶えさせることなく、私たちが受け継いでいくため、「瓦寄進」にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◀当時の石づき工事の様子

元祖大師９００回御遠忌奉修局

# 令和の本堂大改修　瓦勧進　申込書

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| □ | 5,000円 1口 | 施主名を芳名帳へ記帳いたします | | |
| □ | 10,000円 2口 | 瓦に記入するお名前 | □ 施主名と同じ | 施主名と異なる場合のお名前 |
| □ | 30,000円 6口 | 瓦1枚に家族名記入<br>ご家族やご兄弟の記名が可能<br>※6名まで記入できます | お名前 | |
| □ | 50,000円 10口 | 施主名と祈願文<br>（祈願文例）・身体堅固・家内安全・病気平癒<br>・○○家先祖代々など | 祈願文 | |
| □ | 200,000円 40口 | 施主名と祈願文<br>竣工法要に特別ご招待 | 祈願文 | |

※芳名帳へは施主名のみ記帳させて頂きます

| | |
|---|---|
| 施主名 | |
| 住　所 | 〒 |
| 電話番号 | |

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

## 払込取扱票

通常払込料金 加入者負担

02 大阪

口座記号番号 00970-9 32577 4

金額 ※

加入者名 融通念佛宗　御遠忌奉修局

料金　備考

ご依頼人・通信欄

おところ・おなまえ ※

御寄進料

□ 5,000円（1口）　□ 10,000円（2口）　□ 30,000円（6口）

□ 50,000円（10口）　□ 200,000円（40口）　□ 領収書 要

住所

お名前

電話番号

日附印

ご依頼人欄に、おところ・おなまえをご記入ください。（承認番号 大第61023号）

これより下部には何も記入しないでください。

切り取らないでお出しください。

## 振替払込請求書兼受領証

口座記号番号 00970-9 32577 4

加入者名 融通念佛宗　御遠忌奉修局

金額 ※　通常払込料金加入者負担

ご依頼人 おなまえ ※ 様

料金　日附印

備考

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。